

1 事業概要

		課名	地域計画課	事業No.	249
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H12	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			土地利用基本方針（都市マスタープラン）	
				飯田都市計画	
法令・例規等			都市計画法		
事業目的		対象	飯田市全域		
		意図	適正かつ合理的な土地利用及び都市の健全な発展と秩序ある整備を図る		

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路の変更（廃止）、関連する沿道とリニア駅周辺の用途地域の指定、地区計画の決定については、関係する地域との合意形成を図り、必要な手続きを行ったうえで都市計画決定の告示を行いました。</li> <li>土地利用基本方針を具現化するため飯田市版の立地適正化計画の策定に取り組みました。</li> <li>ラウンドアバウトの視察対応等により、有効性の発信と普及促進に取り組みました。</li> <li>桜並木整備に向けての社会実験及び各種調査を実施しました。</li> </ul>	都市計画総務費（都市計画審議会委員報酬等）				733
都市計画基本図作成費（システム改修業務等）					1,490	
土地利用基本方針運用事業費（立地適正化計画の策定業務等）					16,366	
ラウンドアバウト普及促進事業費（総会等）					391	
桜並木整備事業費（現地測量業務等）					2,492	
その他の経費					0	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	都市計画審議会等の運営	回/年	2	3	4		
	GISへの情報登載及びデータ更新	回/種	1	1	1		
	ラウンドアバウト普及促進協議会（総会等）	回/年	1	1	1		
	桜並木整備及び桜の保存に向けた勉強会等	回/年	1	4	2		

30年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補足事項				
		30,535	21,472	(国) コンパクトシティ形成支援事業補助金(1/2)			
財源の状況	国庫支出金	4,383	(そ) 諸収入 129千円				
	県支出金	0	(そ) 繰越金 5,000千円				
	地方債	0	29→30 繰越明許費 5,000千円				
	その他	5,129					
	一般財源	11,960					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	1	10	1	932	733	都市計画総務費
2	1	8	4	1	10	2	1,882	1,490	都市計画基本図作成費
3	1	8	4	1	10	7	24,353	16,366	土地利用基本方針運用事業費
4	1	8	4	1	10	10	412	391	ラウンドアバウト普及促進事業費
5	1	8	4	1	10	11	2,956	2,492	桜並木整備事業費
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路、用途地域、地区計画等の都市計画決定・変更の手続きを行いました。今後もリニア中央新幹線建設に伴う事業に関連して状況が変化していくことが予想されるため、適正な土地利用が図られるよう都市計画の見直しが必要です。</li> <li>拠点集約連携型都市構造の形成を推進する立地適正化計画は、次年度に計画の決定を行うこととしました。関係する計画の進捗に合わせて、審議会等への丁寧な説明が求められています。</li> </ul>							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関や地域と連携して状況の変化等を把握し、都市計画の見直しを行う必要があります。</li> <li>立地適正化計画は、リニア駅周辺整備基本設計や第3期中心市街地活性化基本計画との調整を図り、審議会等の理解や議論を深めつつ、策定に取り組みます。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路見直し方針及びリニア関連事業の進捗にあわせて、必要な都市計画道路の決定・変更を行います。</li> <li>立地適正化計画を策定し、年度内に公表します。</li> <li>ラウンドアバウトの普及促進、桜並木再整備の方針については、関係機関との連携により取り組みます。</li> </ul>							